

## <熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年10月27日(火)19:30～

会場：ZOOM ミーティング

### - 一般講演抄録 1 -

#### 顎関節の不快症状を伴う患者への治療アプローチ

あらた歯科 田中 秀幸 〒862-0933 熊本市東区小峯 2-2-134

##### ■抄録

修復治療は、修復の範囲や欠損の範囲が大きくなればなるほど、診査・診断、それに基づいた治療計画と術式の選択など、選択肢が複雑になる。しかし I 本の歯が主訴であっても、全額視点を持って診断すると、大きな問題を有していることもある。

局所的視点と全額視点を常に持ちながら診断を行ってこそ適切な治療計画が可能となる。

患者は 64 歳女性、2019 年 10 月に右下第一大臼歯冠脱離を主訴に来院。資料収集を行いヒヤリングしていくと、過去に歯科治療を受けて以来、咀嚼時に顎関節への不快症状があることがわかった。患者は歯科治療への不信感を持っており顎関節の不快症状が咬合の関与はどの程度なのかを判断することが必要になる。

スプリント療法、咬合診断を行い、オーバーレイにて可逆的な状態で顎位を検討していった。現在、顎関節への不快症状は消失しており、今後補綴治療へと進めていくにあたり諸先生方のご意見、ご指導頂けますよう宜しくお願いします。

本症例における利益相反はない。